

## 2024年度 第5回理事会 議事録

日 時：2024年12月13日（金）15:00～16:30

場 所：ハイブリッド会議（オンライン及び機械振興会館5階5S-2会議室）

出席者：20名（理事19名、監事1名）

（会長）菊地義典 （副会長）辻 勇（委任状受領済）

（常務理事）井田斉昭、加納孝樹、田口哲也（Web）、松原潤治（Web）、藤島忠康

（理事）新村徳弥、菊地正人、岩崎真和（Web）、高橋丈助、飯田勝、萩原寛佳

小原敏治、達俊彦、津井克巳（Web）、片山正典、寶角雅之

（監事）宮西啓明

（来賓）経済産業省製造産業局、産業機械課課長補佐 國府田勝之様

（事務局・専務理事）宇都木崇

### 挨拶（菊地会長）

10月15日から18日の日程で韓国の歯車業会の視察に行っていました。工業会の参加メンバーは19名で、訪問先は6社、1展示会。後ほど各委員会の活動報告の時に本日も欠席の海外調査・対策委員会、植田委員長に代わって説明させていただきます。この時期に韓国へ行ってまいりましたが、ちょっとタイムリーな話題として韓国大統領の件ですね。色々政治的な混乱がありますが、非常に印象に残っているのは、バスの添乗員が反大統領の抗議デモに参加すると熱く語っていました。だいぶ日本と韓国では政治的な距離が違うなど感じましたが、現在のような事態になるとは思っておりませんでした。政治に熱い国民だということを感じたところでございます。

11月入りましてJIMTOFにおいて、前回の理事会でご承認頂き、少し費用かけて日本歯車工業会のブースを見栄えのする形で展示させて頂きました。会期中にお立ち寄りいただいた方々も多いと思います。事務局としても非常に頑張って、旗を立てたり、動画を流したりと、きちんと会員全員を紹介するようなパネルと作ったり、良い展示が出来ました。その結果もあり、今回、3社の新入会員会社のお申込を頂きました。ほぼ初めての試みでしたので、皆様からも忌憚ないご意見を頂いて、次回のJIMTOFにつなげていきたいなと思っております。

そして、非常にタイトな日程でしたが、JIMTOF終わってすぐ後の11月11日の月曜日、そして翌12日の火曜日、台湾の歯車業界の皆様30名弱をお迎えしました。11日月曜日午前中に当社（菊地歯車）を見学して頂き、午後は片山理事の日立ニコ様を見学、そして歓迎会を大宮で開かせて頂きました。そして翌12日火曜日、午前中にイワサテック様を見学して、懇親会と最後のフェアウェルパーティーという形で、台湾の歯車業界の皆さんを無事お迎えすることが出来ました。色々お話を聞いて分かったことですが、台湾は機械工業会というような形の団体が2,700社ぐらいの規模で組織されており、非常にその団体がしっかり活動されているようです。実はこの台湾機械工業同業公会、Taiwan Association of Machinery Industry(TAMI)という団体は、工業会事務局の位置する機会振興会館の中にサービスセンターを設けており、日本との関係を強くしようとして取り組んでいる団体です。その中に専門委員会というのがいくつかあって、歯車の専門委員会というのが今回、来日されたメンバーです。色々情報交換して、お酒も飲むわけですけど、お酒を飲む前に先方の会長さんから言われたことは「日本と台湾、お互いもっとよく知って、どういう仕事を台湾で、どうゆうものを日本でやるか、そんなところをしっかりと調整してやっていこう」というようなお話を頂きました。そのような話を頂いて、今後どのようにしていくかは皆様と色々協議

をしていきたいと思えます。

次に、事務局の体制についてお話をさせていただきます。実は緑川さんが11月いっぱいまで退職致しました。大学の方の講義の方に時間を割きたいと申し出がありましたので、残念ですが退職されました。バックアップとして急遽、林さんに再登板していただいております。また、今まで派遣社員としてお出で頂いていた金高さんが派遣社員の条件3年間を終えまして、その間、非常に働きぶりも良いということで直接雇用のパートタイムという形になっております。また、更に事務で活躍いただけるような人材を探しているところでございます。今年度中(3月末まで)に事務局の体制をしっかりと固めたいと思っております。ご意見があれば忌憚なくお話頂いて、またサポートいただければと思えます。

最後になりますが、理事会の資料の中に黄色い記事を両面印刷で挟ませて頂きました。Web参加の方々には元の原稿の形で配信させて頂いております。こちらは12月の機会学会に掲載されているものですが、久保先生が書かれた記事で、一昨日送られてきました。50年を振り返って日本の歯車がどの様に推移してきたかという考察も含めて、我々業界としてはちょっとショッキングな見出し、絶滅危惧科目、基礎技術維持のための再考という、こちらで、第12回の最終回が歯車事情ということで、絶滅危惧科目になっているということ、我々業界としては認識をしておかなくてはならないと思っております。この記事を工業会メンバーに転送していいですかというお話をしたところ、快く久保先生からも了解を頂きました。ただ、雑誌からのコピーをそのままお送りするのは問題があるかもしれないということで、先生も懸念されましたので、テキストを配信して問題ないような形式にして会員メンバー全社に配信していきたいと思えます。歯車工業会としては、やはり産学官連携を強めながら、日本の歯車工業の競争力を上げていくという使命がございますので、久保先生をはじめ、色々な先生方と連携を更に強くしながら、日本の歯車産業の発展に全力を尽くしていきたいと考えております。

それでは、本日は報告事項が沢山ございますので、長丁場になるかと思えますが、皆様、宜しくお願い致します。以上でございます。

---

## 議 事

定款第37条に則り理事会決議を行った。同様に定款第39条に基づき、菊地会長、宮西監事を議事録署名人に選任した。

## 議 題 / 決定・検討事項

### 1. 審議・承認事項

#### 1) 新規入会承認の件：

①アスカ工業株式会社(資料No.1)正会員に申請：

紹介者、協育歯車工業株式会社、井田社長

\*賛成多数で承認されました

②加茂精工株式会社(資料No.2)正会員に申請：

紹介者、小原歯車工業株式会社、小原社長

\*賛成多数で承認されました。

③三和精機株式会社（資料 No. 2. 5）賛助会員に申請：

紹介者、株式会社ナゴヤギア

\*賛成多数で承認されました。

\*本日、三社様についてご承認頂きましたので、来年1月17日の賀詞交歓会にて皆様にご挨拶いただけるよう手配させていただきます

2) ICMDT2025 第10回機素潤滑設計生産国際会議 2025年4月23日(水)～25日(金)協賛&展示費用について(資料 No. 3)

背景：2024年5月17日に開かれたRC300において、九州大学教授の黒河先生より前会長・植田社長、現会長・菊地会長に協賛・サポートの依頼があった。学会からはギヤカレッジ等の教授を多数ご提供頂いている他、今後も産学協同の連携を維持・強化するためにサポートをお約束した為、協賛並びにブース展示を予定。

\*賛成多数により承認されました。

## 2. 協議事項：

1) 2025年度年間計画の件：理事会、総会、海外視察（資料 No. 4）

・来年度のスケジュール（案）：

・5月23日(金) 総会、東京プリンスホテル

・7月11日(金) 理事会、ウイंकあいち（ナゴヤ）

・9月19日(金) 理事会、大阪コロナホテル

・海外視察：EMOショー視察費用、高額になる可能性大。80万から100万超。

⇒理事の方々のご意見：「一人で行く方が安い。」「EMOショーに行く必要があるのか？」

「工業会独自のツアー組めないか？」「質の高いものを」

⇒EMOショーに拘らず、独自ツアーでいかに興味深く低価格にするか再検討致します。

## 3. 報告事項

1) 各委員会活動報告並びに今後の予定：

・海外調査・対応委員会：植田委員長欠席の為、菊地会長より韓国視察&台湾歯車工業公庫に関しての報告。

①韓国視察は2024年10月15日～18日まで、総勢19名、6社1展示会见学。ものすごく日本市場を研究している。1社、日本から程度の良い中古の機械を買い集め、自社で自動化。現代自動車の発展と共に成長。JIMTOF期間も複数来日し、非常にアグレッシブな動き。

②11月11日(月)&12日(火)：台湾歯車専門委員会の皆様デビット委員長と来社（菊地歯車）、11日午後は日立ニコトランスミッションを訪問し、夜は大宮パレスホテルにて歓迎会。翌12日火曜日は午前中にイワサテック様を訪問し、お昼は千葉のサッポロビール園にて昼食、夜はフェアウェルパーティーにて親交を深めた。先方は訪問各社に感謝状の楯や、記念写真用の横断幕等準備しており、訪問なれしているなという感じ。今後、どのような形でお付き合いするか皆さんと話し合っ決めていかななくてはならないと思っています。

・ギヤカレッジ企画運営委員会：田中委員長欠席につき、事務局・矢島より報告。カレッジの修了生にタイトルや名刺に貼るシール等を配る予定。費用は50万円ほど。

・ギヤカレッジフォローアップ企画運営委員会：加納常務委員長より。3月7日金曜日に次のギヤカレッジフォローアップミーティングを企画中。

・標準化委員会：病欠の辻委員長に代わり、副委員長の宇都木が報告。第二回標準化委員会が開かれ、10月10日&11日にアメリカ、ローズモントで開かれたWG6に出席した中島様より報告。同様に10月～11月に複数のウェブ会議に参加した竹田幹事よりも報告あり。2025年2月17日から21日にかけてWG2、WG4のミーティングとISO総会が開かれ、辻委員長をはじめ竹田幹事、産総研の近藤様、三条市立大学の川崎先生、総勢4名を歯車工業会より派遣予定。

・研修委員会：

技術研修委員会：田口委員長より。2025年2月28日に機械振興会館において岡山大学の藤井先生にご講演頂く予定。ご案内は正月明けとなります。

現在、ホブ切りの技能検定員不在の都道府県が増えていることより、歯車工業会としてもデータ・ベース作成等により現状を補う準備を始める。ゆくゆくは技術研修委員会が取り扱う予定。

経営研修会・若手経営研修会：事務局、宇都木より。

10月9日に13年ぶりで大久保歯車にて経営者研修会開かれた。製造現場では作業員自ら自動化対策を実施したりしてイキイキとして情報が得られました。一方、2月に予定されていた若手経営者研修会は来年度へ持ち越しとします。

・広報委員会：松原委員長：25年春号のJGMA Newsを3月に発行予定。現在、内容を事務局で検討中。原稿依頼があった方は宜しくお願いします。

・総務委員会：事務局と総務委員長でこれから年末決算・来年度予算作成する予定です。

・事務局：先の理事会にて審議・承認していただいた台湾視察団並びにJIMTOF展示に関する特別予算の収支報告をさせていただきます。資料No.5とNo.6参照。台湾視察団対応では¥2,200,000.-の支出を予定しておりましたが、実際の支払は¥2,190,525.-。更に一部ご参加頂いた会員様より会費をご提供頂きましたので最終的に¥201,475.-のプラスとなりました。一方、JIMTOFでは¥105,975.-のマイナスとなっております。これは展示物再利用考えて材料を耐久性あるものに変更したためと、これを廃却せず工業会事務所移送・据え付けした費用が掛かった為。予算的にマイナスを出してしまいましたが、会員リストを表示した日本地図のパネル、各会員様からご提供頂いた会社案内の動画は非常に公表で、新会員様獲得の助けにもなりました。現在、この時のパネルは工業会オフィスの応接エリアに掛かっておりますので、一度お出で頂いたご覧になっていただきたいと思います。

来年度（2025年）1月17日は歯車工業会の賀詞交歓会となっております。

2) 景況報告：株式会社 長岡歯車製作所、加納社長

コロナ後、少しずつ上がり始め、前期（去年の6月末）、一応コロナ後、最高の売り上げとなりました。6月締めた後、横這いで高い数字を挙げていますが、お客さんに値上げをしているために徐々に落ちてきている気配がある。お客様の中で円安の為、北米は好調なところ

があります。しかし、ここへきてトランプ政権の関税のせい、予定より下げているところもある。その他、工作機械分野で中国の国内向け補助金で小型機械の分野で受注が増えた。いつまで続くのかというと、年度内・年度末まででしょうか。長岡歯車としては多品種少量生産で2か月ぐらい先まで見えていれば御の字ですが、現在、3割ダウン。これから年度末に向かって減っていくだろうと予想の中で、社員の鍛錬等どうしようかなと考えています。話は変わるが、長岡近辺で半導体関連の仕事が忙しいらしい。しかし、地元の製造業は殆ど仕事がない。地元の太陽工機がDMG—MORIに吸収され、再編の波が来ている。採用関係：合同説明会、ここ数年、特にコロナ後、全く人が来てくれない。来年は学生には声掛けない。社員に紹介させて報奨金。派遣社員を雇用したり、縁故採用に報奨金をかけて制度化したりもしている。人材派遣会社より安い。社員として一致期間働いたら報償金を出すことも実施。しかし、103万円の壁。あるいは公の制度を利用して、不労所得で生活する方もいて困っている。

3) その他：

10月末で、栗崎歯車様廃業。退会。

会長より：菊地歯車に柵を引き取り、事業継続。

経済産業省：國府田課長補の言葉：

- ・資料：韓国、米国の政治的混乱だけでなく欧州も。米国ではトランプにより⇒関税アップ。経済産業省でも調査中。
- ・経済対策&補正予算の17日ぐらい。
- ・絶滅危惧科目??経済産業省ではそう思っていない。政権が変わっても同じ局長の予定。
- ・経済政策取り組み事項：国内投資、新陳代謝。
- ・補正予算：中小企業政策、海外転換関連、「中小企業省力化投資補助」カタログ注文型
- ・カタログ補助金⇒半額の補助金。
- ・実際はカスタマイズしないと作れない、売れない。期間が4か月だと短すぎるので18か月へ。
- ・補正予算による補助金：募集が多くて競争が激しい。
- ・4か月後に万博：万博の資料。ビジネスマッチング等。お時間あるときに御覧ください。

以上

資料

【資料 No. 1】 アスカ工業株式会社 正会員申込書

【資料 No. 2】 加茂精工株式会社 正会員申込書

【資料 No. 2.5】 三和精機株式会社 賛助会員申込書

【資料 No. 3】 International Conference of Machine Design and Tribology 2025  
広告掲及び企業展示のお願い

【資料 No. 4】 2025年度（一社）日本歯車工業会 年間スケジュール表（案）

【資料 No. 5】 台湾歯車工業会対応費用

【資料 No. 6】 JIMTOF2024 関連特別予算&支出

以上

2024年12月13日

議長兼議事録作成者 一般社団法人 日本歯車工業会  
会長 菊地 義典



一般社団法人 日本歯車工業会  
監事 宮西 啓明

